

黒岩小学校だより

R2-3号

令和2年6月1日発行

プログラミング教育について

今年度からの新しい教育課程では、新たにプログラミング教育に取り組むことになっています。これからのAIの時代を生き抜くには、コンピュータを魔法の箱とせず、主体的に活用する力を身につけなければなりません。プログラミングを学ぶことによって、コンピュータを正しく理解し、上手に活用する力を身に付けさせたいと考えています。



教科書では、次の2カ所でプログラミングを学ぶことになっています。

5年算数 プログラミングで正多角形をかく

6年理科 プログラミングでミニ信号機を作る

教科書以外でも、様々な場面でプログラミングを学んでいきます。佐川町では、発明ラボの支援により、3つの学年でプログラミングを学びます。

3年 アンプラグドプログラミング（プログラミング的思考の体験）

5年 ビジュアルプログラミング（スクラッチに挑戦する）

6年 ロボット動物園（動物の動きをプログラミングで再現する）

今月、それぞれの学年で授業が予定されています。 ※裏面参照

この学習に欠かせないのが、タブレットです。試行錯誤する中で法則を見つけ、正解を見い出していきます。そうした中で、プログラミング的思考が身につくと考えています。

プログラミング的思考とは、必要な動きを分けて考え、動きに対応した命令にして組み合わせ、試行錯誤しながら改善していく、といった論理的に考える力のことです。様々な課題に出会ったときに、解決に必要な力とも言えます。未来社会を生き抜くこれからの人間に必要不可欠な力でもあります。プログラミングを学ぶ中で、そんな力を育んでいきたいと考えています。

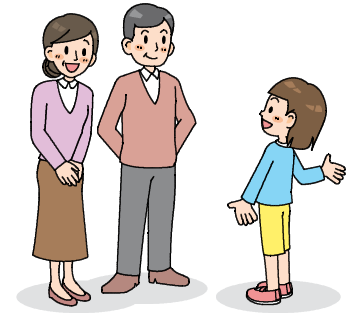


5月27日（水）アトリエforキッズ

花まる学習会のリン先生をお迎えして、1・2年生を対象にアート作品を作る授業が行われました。どの児童も個性あふれる作品を仕上げることができていました。児童の作品はフェイスブックのページに載せていますので、どうぞご覧になってみてください。この授業は、今年度6回開催する予定です。

くろいわ子ども宅急便の取組

本校では、お世話になっている地域の方へ児童が直接文書をお届けする「くろいわ子ども宅急便」の取組を長年に渡って行っています。この取組は、児童がお世話になっている地域の方を知る機会とするとともに児童も地域の一員としての役割を果たす、学校の情報を地域にお届けすることにより学校と地域が協働で子どもを見守る教育環境を構築する、の2つの目的により行われています。学校だよりをはじめ、学校行事等のご案内、児童から地域への情報発信（学習成果発表）などの文書を配布しています。



年度当初は、学校が臨時休校となったことにより、教職員が文書をお届けしました。今号の学校だよりより、くろいわ子ども宅急便の取組による配布となります。児童の割り当ては、3年生からとしています。4～6年生は昨年度も行いましたので慣れていると思いますが、初めて取り組む3年生は戸惑うことも多いと思われます。どうか温かい目で見守ってくださればと思います。

黒岩いきいき応援隊のみなさんから、全校児童に1人1枚ずつマスクを寄贈していただきました。ありがとうございます。大事に使わせていただきます。



の黒岩小学校

6月 3日（水）プール掃除（プール開きは10日から）

4日（木）プログラミング学習（3年）

8日（月）ハローウォーク（～12日）

9日（火）読み聞かせ、プログラミング学習（5年）

11日（木）あいさつ運動

16日（火）プログラミング学習（6年）

18日（木）アトリエ for キッズ②（1・2年）

21日（日）町道草刈り

24日（水）いちご集会、ものづくり教室（4年）、出前考古学教室（5・6年）

26日（金）マナーキッズテニス

27日（土）土曜授業日（授業参観、子育て講演会、学級懇談）

29日（月）PTA読み聞かせ、開かれた学校づくり推進委員会①



-----きりとり-----

返信【黒岩小だより R2-3】ご意見・ご感想をお寄せください。お名前（ ）

※学校へのご意見・ご質問など、お気軽にお寄せいただければ幸いです。